

令和8年度 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（ユニバーサル公演）
出演希望調書 No.1（共通）

オレンジ色 入力必須項目です。

みどり色 選択必須項目です。

制作団体名	株式会社ハイリー
公演団体名	SUPERONLY

分野・種目

※応募する企画の主たる分野・種目を1つ選択してください。

分野・種目については、募集要領4ページを御参照ください。

分野	種目
舞踊	バレエ・現代舞踊

取り組み（②に該当する場合は○を付してください。）

該当	取り組み
○	①字幕や音声ガイダンス等を設置するだけでなく、障害のある子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み
	②障害のある芸術家が活躍する取り組み

②に該当する場合、芸術家が抱える障害の種類

--

※採択を受けた場合、実施へ向けた調整に当たり、参考とさせていただきます。

応募する区分

該当	区分
	«Pタイプ» 公演を中心とする企画
○	«Wタイプ» ワークショップを中心とする企画 ※ ワークショップの一環として実演を披露するものを含みます。

実施可能期間 ※原則として令和8年6月1日（月）～令和9年1月29日（金）まで

実施可能期間	○	全期間：令和8年6月1日～令和9年1月29日	※夏休み、年末年始を除く
		～	～
		～	～
		～	～
連日公演の可否		可	←選択してください。

実施可能地域 ※実施可能な地域名の前に○を付してください。 (複数選択可)

該当	地域	都道府県	都道府県を限定される場合はこちらに御入力ください。
	限定なし		
	北海道	北海道	
	東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	
○	南関東	埼玉、千葉、東京、神奈川	
	北関東・甲信	茨城、栃木、群馬、山梨、長野	
	北陸	新潟、富山、石川、福井	
	東海	岐阜、静岡、愛知、三重	
○	近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	
	中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	
	四国	徳島、香川、愛媛、高知	
○	九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島	
	沖縄	沖縄	

団体の概要

【制作団体について】

ふりがな	かぶしきかいしゃはいりー				
制作団体名	株式会社ハイリー				
代表者職／氏名	葉山悠介				
制作団体所在地	<p>〒 861-2234 熊本県上益城郡益城町古閑441-3</p>				
制作団体代表電話番号	090-1510-5170				
制作団体設立年月	2023 年 11 月				
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等			
	代表取締役 葉山悠介	スタッフ4名、芸術家3名			
事務体制：事務（制作専任担当者の有無）	他の業務と兼任				
Webサイト等URL	http://yusukehayama.com/				
本事業担当者名	藤 友里江	本件連絡先：電話番号	080-4694-4240		
メールアドレス	superonly0225@gmail.com				
経理処理等の監査担当の有無	有				
経理責任者名	葉山悠介				

【公演団体について】

ふりがな	すーぱーおんりー
公演団体名	SUPERONLY
代表者職／氏名	葉山悠介
Webサイト等URL	https://superonly.biz/

特別支援学校等における活動実績や障害を持った芸術家の活動を拡げる公演等の活動実績

特別支援学校などにおける活動実績

- ・2022年9月から同年10月にかけて宇土市民会館アウトリーチ事業
宇土市立鶴城中学校 特別支援学級にて出張講座を3校時担当。同校文化祭にてダンス作品を発表。
- ・2023年10月16,30日 熊本大学教育学部附属特別支援学校にて3校時の授業（教科：音楽）
・熊本県立劇場主催事業 みんなで踊ろう！～障がいのある人もない人も、一緒に踊るワークショップ～
2023年度、2024年度アシスタントとして参加。2025年度よりメイン講師として参加。
- ・2024年度から現在、熊本大学にてゲスト講師。熊本大学教育学部附属特別支援学校の生徒を対象とした月1回程度クラブ活動を通して、同大学学生に実践的な身体表現法や支援のノウハウを伝える講義を担当。2024年10月には、第27回熊本国際交流祭典にて作品を発表。
- ・2025年11月11日 令和7年度いきいき芸術体験教室公演の委託を受け、熊本県立支援学校にて公演予定。

障害を持った芸術家の活動を拡げる公演などの活動実績

- ・EXPO2025 大阪ワールド BiG-I DANCE Project
ダンス・サポーターのリーダーを務め、振付指導、稽古プログラムづくりを担い、公募で選ばれた障がいのある方を含む約70名を率いて舞台を完成に導く。2025年8月～9月にかけて稽古とワークショップを5回、同年9月5日に大阪関西万博会場で開催された「OSAKA JAPAN SDGs Forum」にて発表。

令和8年度 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（ユニバーサル公演）
出演希望調書 No.2 (Wタイプ)

オレンジ色

入力必須項目です。

みどり色

選択必須項目です。

制作団体名	株式会社ハイリー		
企画名	みんなでつくろう からだあそびダンス		
企画の動画等の資料	PW		
URL			

ワークショップ全体

構成	①体遊び、動きの模倣 ②体を使った様々な表現方法、他者の観察、作品作りのアイデア出し、グループワーク ③作品作りと発表 様々な体遊び、身体表現ワークを通じ、自然といつの間にか踊れるようになっている、自己表現が楽しくなっている状態を目指し、スマールステップで進めています。
補足事項	基本的な構成は変えずに、学年や障がいの特性などに応じてワークの内容や難易度を柔軟に変更します。各プログラムは別添資料「【R8_ユニバ_応募】_株式会社ハイリー_別添資料」

各回ごとの詳細

1回目						
主な対象学年	<input type="radio"/>	小学校：低学年	<input type="radio"/>	小学校：中学年	<input type="radio"/>	小学校：高学年
※複数選択は可能ですが実施内容にあった年齢層を御選択ください。	<input type="radio"/>	中学校・中等教育学校（前期課程）				
	<input type="radio"/>	特別支援：小学部	<input type="radio"/>	特別支援：中学部	<input type="radio"/>	特別支援：高等部
受け入れ可能人数	40人		実施時間	70~90分		
実施内容	①手を上げ下げダンス。座った状態で手を上げ下げして全員で大きなウェーブ。一緒に体を動かす楽しさを感じ、表現しやすい雰囲気を作る。 ②講師陣によるパフォーマンス ③動物を模倣したストレッチ。円形になり講師の真似をして体を動かす。 ④布を用いたペアダンス。間接的な接触により参加者の動きを引き出す。 ⑤移動の練習。「ぶつからない、追いかけない、走らない」3つの基本ルール。途中でストップやポーズ、歩き方を変えるなどのゲーム要素のあるワーク。さらにいろんな速さ（カウントを変えて）で歩くことでリズム感も身につきます。					
目標とする効果	体の動かすことの樂しみを感じ、自分を解放し自由な表現に繋げること。 自己表現のハードルを下げ、スマールステップで作品発表に向かう準備。 身体表現を通じて自然なコミュニケーションが誘発され、周りを見る力や他者への興味を引き出す					
概要 指導者との編成役割	指導者が中心となり声掛け、お手本となる動きをし、補助者は参加者の間に入りサポート。主指導者の説明に合わせ、動きのパターンを見せることで参加者の発想をより自由に豊かなに引き出すこと					

2回目							
主な対象学年 ※複数選択は可能ですが実施内容にあった年齢層を御選択ください。	<input type="radio"/>	小学校：低学年	<input type="radio"/>	小学校：中学年	<input type="radio"/>	小学校：高学年	
	<input type="radio"/>	中学校・中等教育学校（前期課程）					
	<input type="radio"/>	特別支援：小学部	<input type="radio"/>	特別支援：中学部	<input type="radio"/>	特別支援：高等部	
受け入れ可能人数	40人			実施時間	70~90分		
実施内容	<p>①振付を分解したストレッチ。ストレッチが振り付けとリンクしており、速さやタイミングを変えることで自然と1フレーズ踊ることができます。</p> <p>②1回目内容を深めて、新しい表現を引き出す。</p> <p>例) 動物を模倣したストレッチに、感情を込めたり、性格を反映することで表現の幅を広げる。さらに喜怒哀楽に触れ、自身や他者の感情、行動の理解に繋げる。</p> <p>③名前ダンス 体のいろんな部分を使って名前や○△◇などの記号を書いて児童生徒一人一人のオリジナルのダンスを作る。</p>						
目標とする効果	身体表現を通じて、参加者同士がコミュニケーションをとり、自身の感情や他者を理解すること。自分だけの表現に自信を持つこと。気持ちや何かを表現することに楽しみや前向きな気持ちを感じてもらうこと。						
概要 指導者との編成役割	指導者が中心となり声掛け、お手本となる動きをし、補助者は参加者の間に入りサポート。主指導者の説明に合わせ、動きのパターンを見せることで参加者の発想をより自由に豊かなに引き出すこと						

3回目							
主な対象学年 ※複数選択は可能ですが実施内容にあった年齢層を御選択ください。	<input type="radio"/>	小学校：低学年	<input type="radio"/>	小学校：中学年	<input type="radio"/>	小学校：高学年	
	<input type="radio"/>	中学校・中等教育学校（前期課程）					
	<input type="radio"/>	特別支援：小学部	<input type="radio"/>	特別支援：中学部	<input type="radio"/>	特別支援：高等部	
受け入れ可能人数	40人			実施時間	90~120分		
実施内容	<p>①2回目の講座で経験した、振付、名前ダンスなどをもとにグループ毎に作品作り。みんなで踊る共通の振り付け、ソロダンスを入れて、曲に合わせて踊る。テーマを決め、踊る順番、人数、立ち位置をアレンジして作品作りに挑戦。講師陣もそれぞれのグループに入る。</p> <p>②ミニ発表会と作品作り</p> <p>他のグループの発表をしっかりと観察し、自身のグループの作品をさらに良くするヒントを得て、グループワークで更なるコミュニケーションを促す。</p> <p>③最終発表会</p>						
目標とする効果	グループ毎の創作と発表を繰り返すことで、創造力、相手のことを思う想像力、コミュニケーション能力を自然と養い、仲間と共に作品を作り上げる達成感を感じること。他者や他グループの作品に興味を持ち、良いところを探すことで、相互理解や観察力を高める。他者からの発見によって、自身の良さに気づき、自己肯定感を高めることに繋げる。						
概要 指導者との編成役割	指導者は全体を把握。 補助者はそれぞれのグループワークの補助。 参加者に寄り添い、表現を引き出し、作品として形にするための助言をすること						

4回目						
主な対象学年 ※複数選択は可能ですが実施内容にあった年齢層を御選択ください。	<input type="radio"/>	小学校：低学年	<input type="radio"/>	小学校：中学年	<input type="radio"/>	小学校：高学年
	<input type="radio"/>	中学校・中等教育学校（前期課程）				

さい。		特別支援：小学部		特別支援：中学部		特別支援：高等部
受け入れ可能人数			斜線	実施時間		斜線
実施内容	3回を予定しているため記載なし					
目標とする効果	3回を予定しているため記載なし					
概要 指導者との編成役割	3回を予定しているため記載なし					

5回目						
主な対象学年 <small>※複数選択は可能ですが実施内容にあつた年齢層を御選択ください。</small>		小学校：低学年		小学校：中学年		小学校：高学年
		中学校・中等教育学校（前期課程）				
		特別支援：小学部		特別支援：中学部		特別支援：高等部
実施内容	3回を予定しているため記載なし					
目標とする効果	3回を予定しているため記載なし					
指導者との編成待合室	3回を予定しているため記載なし					

企画全体について

当ユニバーサル公演を実施されるにあたり重点を置くポイントや工夫、対応について御入力ください。

企画のねらい	<p>障がいやダンス経験に関係なく表現を楽しみ、豊な想像力を育むこと。</p> <p>様々なアプローチで身体表現を通じて、創造性を引き出し、創作を通じて他者に興味を持ったり、自然とコミュニケーションが誘発されるようなプログラムを提供し、普段とは違う表情を見せる友達や先生との新たな関係性づくりの一助になること。</p> <p>創作の経験が成功体験や楽しかった記憶として残ることで。自分を表現することに自信を持ってもらうこと。</p>					
障害のある子供たちに鑑賞・体験してもらうために取り組む工夫	<p><input type="radio"/> 視覚障害</p> <p>演者による声掛けの工夫、補助者が動きを口頭で伝えたり、許可をとったうえで手などを触り動きをナビゲートする</p> <p><input type="radio"/> 听覚障害</p> <p>手話通訳者及び字幕等を活用し、セリフやナレーションを視覚で伝えます。</p> <p><input type="radio"/> 肢体不自由</p> <p>補助者が子供たちの近くで動きをフォローします</p> <p><input type="radio"/> 病弱</p> <p>指導者、補助者が近くで踊るなど、体験よりも鑑賞を充実させる工夫をします。</p> <p><input type="radio"/> 知的障害</p> <p>音量、プログラムの難易度、振付のスピード、プログラムの進捗状況を調整する。</p> <p><input type="radio"/> その他</p> <p>開催校との事前のヒアリングを通じて児童生徒の特性や注意すべきこと、普段の様子をお伺いし対応する。</p> <p>また初日から参加せず、見学などそれぞれのペースでも以降のプログラムに参加できるような組み立てを授業後の団体での振返りなどで話し合いを重ね、次回のプログラムを柔軟に対応する。</p> <p>協力・連携機関及び団体内における専門員の配置等</p> <p>聽覚障害などサポートが必要な現場には手話通訳者などが帯同する</p>					

ワークショップ参考資料

ワークショップで目指すもの

日常の動きや自由な発想から作るダンスで
気付いたら踊っていた という経験が



自分を表現して一歩踏み出す勇気
につながること

ダンスは身体表現であるため
多様な発想を取り入れて踊りを作ることができる

子供達のアイデアが生まれやすい環境をつくり
自由な表現を引き出してダンスにすることで

創造や表現の楽しみや喜びを感じ踊れたことが一つの成功体験として
子供達の自信や自己肯定感の向上につながるワークショップ

プログラム一例



表現しやすい環境づくり

ゲーム性の高いプログラムで
自由な発想を引き出しやすく
それが認められる状態を作る



独創性

書くという日常の動きと
“自分の名前”をダンスのモチーフに
することで独創的な表現を作る

マネダンス

講師を中心に円を作り、真ん中の講師の動きを真似します。
ストレッチやラジオ体操のような知っている動きから
いつの間にかジャンプや高速ステップなどにも挑戦して
気分はすっかりダンサーに。

ギオンダンス

「ドンドン」「もこもこ」「ポチャ」「ガーン」「ダラーン」など
擬音に合わせて体を動かします。

「歩く」から作るダンス

- ①ぶつからず、走らず、友たちの間をすり抜けるように歩く
- ②スロー、早歩きなどいろんな歩き方に挑戦
- ③合図が聞こえたら止まる。
「片足、手をついて、座って、ポーズをとって」
- ④ポーズに「想像」をたず
ライオン、サメなどイメージしやすいポーズで止まる。
2つ、4つとポーズ増やして踊りに。
- ⑤足運びをステップに
横に動いたり、足をクロスしてみたり。
歩く動作をダンスのステップに少しずつ変換。

名前ダンス

- ①顔の前で手のひらで自分の名前を書く。
- ②両手で描いてみる。足で描いてみる。
- ③書く面を上下前後左右にしてみる。
- ④回りながら描いてみる。擬音を付け加えて動きを進化させる。
- ⑤②～④を取り入れて名前を3、4回描いて終わったらポーズ

テーマに合わせた振付作り



例) テーマ「クリスマス」

- ①「ポーズづくり」講師、アシスタントによるお手本
子供達からクリスマスから連想する言葉
(サンタ、トナカイ、雪だるま、ツリーなど) を
アシスタントや講師がポーズで表現。
- ②子供達に真似してもらう
ポーズをつなげて簡単な振付にして子供たちと一緒に
- ③子供達に「ポーズ作り」に挑戦してもらう
やってみたい人を挙手で募る。先生方にも協力してもらう。
今度は何の動きをやっているか他の子供に考えてもらう。
みんなで真似してやってみる。
- ④グループ発表
ソロ、グループなどの踊る人数の変え方や立ち位置の
作り方などを説明。ここまでプログラムを応用して
講師陣と一緒に演出を考えて作品を仕上げる。

ワークショップを受講された先生方のご感想

普段は表現が苦手な子どもたちも笑顔で身体を動かしていました。
心も体も解放され、表現する楽しさを味わっているんだなと感じました。
(K 小学校校長)

今まで見たことのない子供の表情が見れました。
何かになりきって自分の感情をそのまま表現できる
素晴らしいクラスです (R 小学校校長)

学年や学校のご希望に応じて体験プログラムを組み立てます。

1講座 子供達の体験の質を
70-90分 維持するため
50名 以下で実施

- 主指導者の紹介 -



葉山悠介
-Yusuke HAYAMA-

15歳からストリートダンスを始め、22歳からアメリカニューヨークに留学。2018年熊本県の「くまもと若手芸術家海外チャレンジ事業」の助成を受けイスラエル・テルアビブにて研修。

主な出演作に「熊本復興祈念公演水と木と火、そして再生の物語」（総合演出行定勲氏、振付演出矢内原美邦氏）、主な振付作品に「第64回熊本県芸術文化祭スペシャルステージ“ONEPIECE×人形浄瑠璃清和文楽”（総合演出・音楽監修藤原道山氏、脚本・演出横内謙介氏）、「味千ダンス」などがある。

2017年にダンスと演劇を軸にしたコラボレーションを展開する SUPERONLY を立ち上げ、全公演、全イベントで総合演出を務める。令和5年度には、「アートキャラバン事業」を活用した熊本県内の3市町の公共ホール（宇土市民会館、八千代座、益城町文化会館）との連携企画和楽器 × ダンス公演「つながるわとわ」を成功させる。2024年にはフランス・パリでパフォーマンス。2025年9月には大阪・関西万博にも出演。

主指導者の活動

舞台・映像・子供向けイベントなどでも大活躍中！



Big i Instagram より引用
https://www.instagram.com/p/DOGDL1CkacP/?hl=ja&img_index=1



- 舞台 -

「熊本復興祈念公演水と木と火、そして再生の物語」（総合演出 行定勲氏）

和楽器 × ダンス つながるわとわ bySUPERONLY

プロの演奏家と一般公募の参加者に振付をして舞台を創作し3市町（宇土、山鹿、益城）で公演
新聞・TVで特集を組まれる

- 舞台振付 -

「第64回熊本県芸術文化祭スペシャルステージ“ONEPIECE×人形浄瑠璃清和文楽”
小学生から大人まで約70名に振付

- 振付指導 -

Big i Dance Project 大阪ウィークにて約70名の障がいのある方も含む出演者の
振付指導を担当。大阪関西万博会場のシャインハットにて披露。

- 映像・CM -

幸明開発様 CM / 平田機工様スタジアム CM / 味千拉麺様50周年記念動画

- イベント企画 -

親子で楽しめるクリスマス音乐会など企画、演出を手がける。

その他のプログラムと解説



パフォーマンス

まずはダンスパフォーマンスで心を掴みます。目の前でプロのパフォーマンスを見ることで、参加者はテンションが上がり、その後の活動にも積極的に参加するようになります。



どうぶつストレッチ

キリンのポーズで背伸びをしたり、ゾウの鼻で前屈したり、いろんな動物の真似をしながらストレッチをしていきます。なんの動物か当たり、新しい動物の動きを作ったり、想像力を働かせながら身体をほぐしていきます。



アップダウンハンズ

前から後ろ、右から左に参加者の前通りの動きに合わせて、講師の動きに合わせて、手を上げ下げします。スピードや方向を変え、人のウェーブを作ります。一緒に身体を動かす楽しさを感じ、踊りやすい雰囲気を作ります。



布ダンス

布を使って体をほぐしたり、クラゲに見立てて動かしたり、ペアワークをしたり、動きの面白い布が緩衝材となり、自然と体が動き出すワーク。リズムに合わせてヒラヒラ動かしたり、動きをナビゲートしたり、様々な形変化しながら表現を引き出します。

テーマに合わせた振付作り

講師の特技！即興振付。「サンタさんダンス」「ライオンダンス」など想像しやすいストーリーに合わせた振付を踊ります。振付の中に出てくるポーズは、参加者のジェスチャーやアイデアを引き出して作りすることもあります。自分のアイデアが採用され、ダンスが出来上がる喜びが成功体験につながります。ここまでプログラムの動きも入って、いつの間にか一曲踊れるようになっている！！そんな体験ができます。

主な導入事例

令和7年度いきいき芸術体験教室（熊本県）障がいのある人もない人も「みんなで踊ろう！」（熊本県立劇場主催事業） / 宇土市民会館アウトリーチ事業（宇土市の中学校に出張授業） / 緑ヶ丘保育園様（大津）学童ワークショップ / おやまひよこ保育園様保育士研修 / ちびっこランド神水園・嘉島園様 Emile 保育園様 / 熊本大学附属特別支援学校様

【令和8年度学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業－ユニバーサル公演－実施条件等確認書（No.1）】

ID *	UNI8_03	企画名	みんなでつくろう からだあそびダンス		
制作団体名	株式会社ハイリー		公演団体名	SUPERONLY	

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等					応相談					
控室について	必要数 *	1室	条件								
前日仕込みについて *	なし	補足									
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			乗用車	2台						
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細										
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ										
	搬入車両の横づけの要否 *		不要								
	横づけができない場合の搬入可能距離 *										
	搬入経路の最低条件										
	理由										
	設置階の制限 *		問わない								
	搬入間口について 単位：メートル	幅		高さ							
	舞台設置場所 *		プロア								
会場設営について	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	奥行		高さ						
	体育館の舞台を使用す る場合の条件	舞台袖スペースの確保 *		不要							
		舞台袖スペースの条件 *									
		緞帳 *	不要	バトン*	不要						
	遮光(暗幕等)の要否 *		理由								
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は 経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面 にて御確認ください。						
	ピアノの事前調律 *			不要							
	プロアを使用する場合の 条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可							
	公演に必要な電源容量		※主幹電源の必要容量								
	その他特記事項					応相談					

②会場図面(表記単位：メートル)

搬入間口について	幅		高さ	
搬入車両の横づけの要否	不要			
横づけができない場合の搬入可能距離				

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

